

# プチぷよ

6月17日に宮城県・栗原市にある(株)渡辺採種場の瀬峰研究農場を訪問させていただきました。今回は果菜類を拝見するのが目的でしたが、来春発売される「プチぷよ」を見ることができました。少し前にTBSのはなまるマーケットで取り上げられたようで、食べてみたいという反響も多かったそうです。

今から4～5年前に、改良される前のプチぷよを食べたことがあるのですが、初めて食べたときの衝撃は忘れられません。その後改良されたものがこの「プチぷよ」で、外観の艶やかさ(さくらんぼのような光沢)と真っ赤な色(ちょっとイミテーションみたい)と皮のぷよぷよした独特の柔らかさ、果肉のジューシーさと甘さと酸味のバランスが特徴だと思います。今までなかったトマトの楽しみと美味しさがあります。改良前の品種も子供たちに大人気だったので、今度のプチぷよもきっといろいろな方達に喜ばれると思います。しかし果皮がぷよぷよとして柔らかいので、裂果しやすく輸送性はあまり優れていないと思います。このトマトの良さをどのような方法や戦略で販売していくのか、とても興味がありすし、楽しみです。ターゲットが明確になれば、面白い広げ方がありそうな気がします。15年余りの歳月をかけて作られた品種で、いよいよ来年本格的にデビューです。農場では、赤くなる前の白熟果もいただきましたが、えぐみや苦みがなくてこれも美味でした。

